

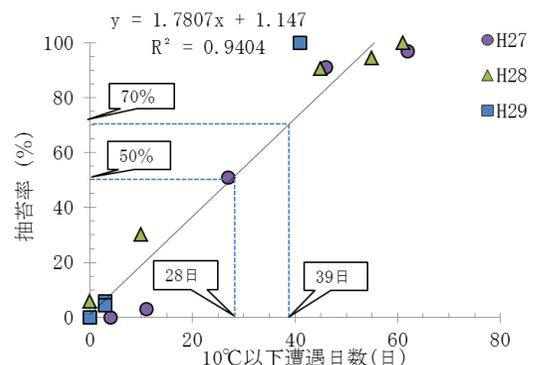
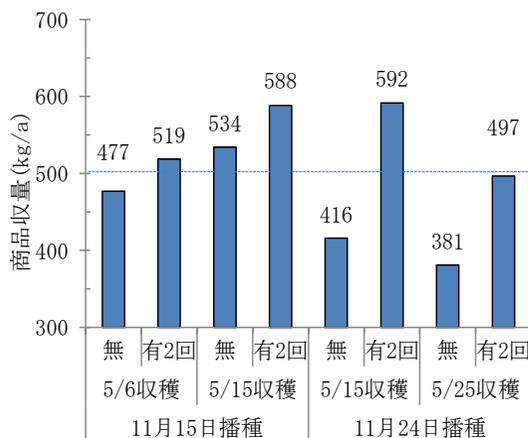
熊本地域におけるニンジンの無被覆・無マルチ栽培による4～5月どり技術

4～5月どりにおいて、11月中旬～下旬播種は追肥を行うことで商品収量は概ね500kg/a以上が得られる

背景・目的

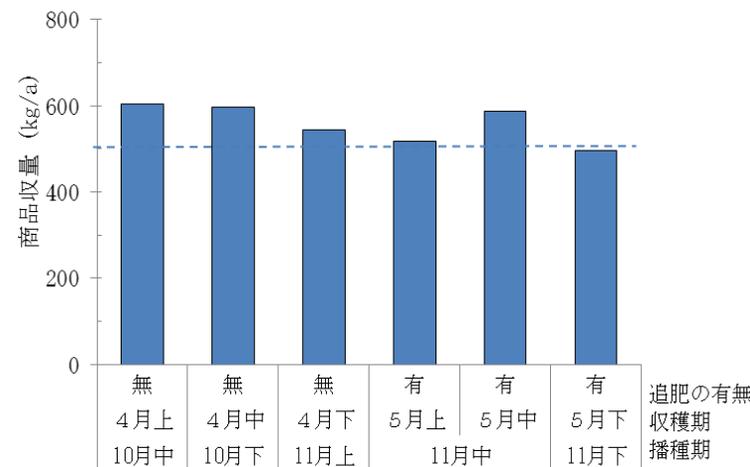
- ・4～5月どりニンジンには収穫期前の抽苔を回避するため、他県はPOトンネルによる被覆栽培が主流
- ・本県は近年の温暖化を利用した簡易被覆等による省力、低コスト栽培の可能性がある
- ・これまで無被覆・マルチ栽培における播種期、収穫期の関係について普及情報として公表
- ・さらに低コストな無被覆・無マルチ栽培について検討し、新たな作型を確立を目指す

成果の内容



注) 抽苔率：最終調査時点である5月末時点の抽苔率

導入メリット



- ・播種期と追肥を組み合わせることで4～5月どり低コスト生産が可能
- ・ニンジン農家の経営安定と所得向上

期待される効果

4～5月どりニンジンの低コスト栽培と生産安定

普及対象・範囲 熊本地域 (10月～5月までの平均気温が16℃の地帯)